

総領事館便り 7 月号



★第40回東ジャワ地区日本語弁論大会の実施（報告）

6月22日（土）、1945年8月17日大学（UNTAG）にて、在スラバヤ総領事館及び国際交流基金共催、東ジャワジャパンクラブ（EJJC）及び元日本留学生協会（プルサダ）東ジャワ支部の後援で、第40回東ジャワ地区日本語弁論大会が開催されました。今大会には、各大学から選抜された大学生と社会人、計11名が出場しました。

優勝したのは、社会人のノフィ・プルワンティさん。実は彼女は以前にも2度弁論大会に出場しており、今回初めて優勝を勝ち取りました。弁論の題目は「無常」。日本語を勉強する中で出会った「無常」という言葉について考察し、その意味を自らの実体験を元に噛み砕いて発表されました。準優勝は「正直は一生の宝物」と題した弁論を行なった、国立ブラウィジャヤ大学のアデ・プトリ・ヌル・ワフュディ・アンシャさん。正直であり続けることの難しさと大切さを説いた上で、正直であれば幸せな毎日が送れると語りました。第3位には、「光の探し方」と題した弁論を行なった、スラバヤ国立大学のナニ・クルニアサリさんが選ばれました。目標を見失いそうになったとき、諦めそうになったとき、自分自身の中にある光を探して一歩踏み出すことができると、自身の経験を交えながら語りました。他の発表者からも、思い思いのテーマで熱い弁論が繰り広げられました。

優勝者、準優勝者に対しては、渡部EJJC会長から、永山和子賞が贈呈されました。また両者は、7月20日（土）にジャカルタで行われる全国大会に、東ジャワ地区代表として出場します。ノフィさん、アデさんが全国大会でベストを尽くせるよう期待します。

またこの場をお借りして、審査員として参加いただいた渡部EJJC会長、徳長SJS校長、当日会場にお越しいただいた皆様に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



優勝したノフィ・プルワンティさん



準優勝のアデ・プトリ・ヌル・ワフュディ・アンシャさん



第3位のナニ・クルニアサリさん



渡部EJJC会長から永山和子賞の贈呈



出場者と審査員による記念撮影